

秋田県男女共同参画情報誌

# Lavita



vol.88

2015年2月28日発行

ラ・ヴィータ：イタリア語で“生命・人生・生活”

## ひとつ先へ、チャレンジ！

～夢をかたちに～

【特集】  
1

片足を秋田に、  
もう片足は世界に

【特集】  
2

継いでよかつたと思える  
農業、地域をめざす

陽気な母さんの店友の会 会長 石垣一子さん

### ○輝き★高校通信

秋田県立秋田北鷹高等学校

### ○いきいきクローズUP

女組バスターズ（秋田東警察署／秋田市）

### ○ラヴィータな人々

育休を取った男たち

学校法人こひつじ学園 認定こども園  
こひつじ幼稚園 ろばの子保育園 石川祐也さん

### ○男女イキイキ職場訪問

奥羽住宅産業株式会社

### ○行ってみよう！男女共同参画センター

○知ってるつもり!?  
イマドキの男女共同参画

### ○INFORMATION



高橋泰さん

ヤマモ味噌醤油醸造元  
高茂合名会社 常務取締役

# ひとつ先へ、チャレンジ! ～夢をかたちに～

年齢や性別を問わず、誰でも自由に心の中で思い描けるのが「夢」のいいところ。どんなに大人になっても、どんなに小さくても、夢や希望を忘れずに持っていたいものです。特集では、身近な目標を少しずつクリアしながら、前向きにチャレンジを続けるお二人をご紹介します。



スタイリッシュなデザインの少量ボトル。海外のお店やオンラインショップでも買っている。



蔵元の一角にあるセレクトショップ「ゴヨウキキ茂助」。初代が醸造業を営む以前は、地域の御用聞きだったとのこと。調味料のほかにも、オリジナルの生活用品を取り揃えている。

## profile

1979年湯沢市生まれ。千葉大学デザイン工学科卒業、東京農業大学短期大学卒業。2006年に帰郷し、ヤマモ味噌醤油醸造元の7代目を継ぐ。造りや企画開発のほか、商品パッケージやウェブデザイン等も手掛けている。

## info

ヤマモ味噌醤油醸造元 高茂合名会社  
住所: 湯沢市岩崎字岩崎124  
tel: 0183-73-2902  
ウェブサイト: yamamo1867.com



「旅に持ち運べるデザインにしたい」。蔵入りの石鹼のパッケージを試作している高橋さん。



# もう片足を秋田に、 片足を世界に

ヤマモ味噌醤油醸造元  
高茂合名会社 常務取締役

高橋 泰さん(湯沢市)

旅先で見つけた喜びを  
暮らしの中で提案する

湯沢市のヤマモ味噌醤油醸造元は、1867(慶應3)年に創業した秋田の老舗のひとつ。県南独特のほんのりとした甘みが特徴の味噌や醤油は、これまで地域に暮らす人たちを中心に馴染み親しまれてきました。

7代目にあたる高橋泰さんが、家業を継ぐために生まれ育った蔵元に戻って来たのは、今から8年前のこと。「およそ150年間受け継がれてきた職人たちの技と手づくりの味を、機械化による大量生産に頼らずに次の世代へと繋げていくためには、今何が必要なのか」。従業員数14名の秋田の小さな蔵元から高橋さんが着目したのは、広い世界でした。日本の基礎調味料は、今や世界の至る所で手に入れることができます。

元の企業活動は「グッドデザイン賞」を受賞しました。

2014年、高橋さんは仕事を兼ねてアメリカ、フランス、トルコを旅しました。各国を訪れ実感したのは、「旅先に持ち運べる調味料があると、食生活がより豊かになること」と、「異文化に触れてみたい」ということ。「食事の延長上にあるライフスタイルまでご提案できる企業になりたいと思ったんです。仕事に縁のある国々で、モノづくりの現場に接して自信をもらいました」。基本となるのはもちろん醸造業。味噌醤油が毎日の暮らしに欠かせないよう、どの国においても産業・文化の発展の基礎となるのは「生活」です。

次時代へと誘う  
新たな「船出」

『ライフ・イズ・ボヤージュ（人生は航海である）』。昨年、ヤマモ味噌醤油醸造元は企業理念を刷新しました。この言葉には開拓精神、豊かな毎日の追求、そして長い歴史を受け継ぐ決意が込め

られています。

「なぜ?と思われるかもしされます」と高橋さん。出張先のトルコで気に入った石鹼の成分に味噌の糀を混ぜ、近々オリジナルグッズとして製造しようとの計画中です。また、蔵の多い横手市増田地域と湯沢市岩崎地区にかつて渡し舟のあった歴史を紐解き、観光資源となるよう蔵や庭園を昔の姿に戻す計画も進行中。先祖の軌跡を現代に蘇らせる取り組みです。産業を存続させるには、若い職人の確保も必要不可欠です。「職人の世界は男社会と言われますが、味噌醤油に関しては、むしろ女性の方が身近ではないのでしょうか」。幅広く優秀な人材を集められるよう、より働きやすい企業環境を整えている最中とのことです。「職人集団であり、旅人集団であることを目指したい」と語る高橋さんの人生の航海は、これからも続きます。



「伝統が紡いだ価値を継承し、今の時代に合う商品を届けたい」。昔ながらの製品を少量ボトルにリパッケージしたり、日・英・中の三か国語表記のウェブサイトを開設したり、蔵元にはセレクトショップを開いたり…。高橋さんは作り手の想いを丁寧に発信し続け、老舗の蔵元に新しい風を入れていきました。

高橋さんの挑戦は、やがて秋田県内ののみならず国内外でも注目されるように。ヤマモの商品は、台湾やタイなど海外でも販売されています。2013年度、醸造業の魅力を伝えるさまざまな取り組みが評価され、ヤマモ味噌醤油醸造

# 継いでよかつたと思える農業、地域をめざす

陽気な母さんの店友の会会長

石垣一子さん(大館市)

昨年の販売額2億2,300万円、加工や農作業体験受け入れ数104回、その参加者3,076人と、体験交流型直売所は躍進しています。

「平成13年4月のオープン当初、百名の会員で月43万円の施設リース料やパートの給料を出すには、1億円の販売額が必要でした。そこで、会員一人ひとりが経営者という意識で勉強を重ね、組織をつくり、1人1日3千円、食堂も1日3万円を売る目標を立てたんです」と、当時を振り返る石垣さん。

## パートナーとして

店のオープンまで、実に4年もの歳月を要しています。公的資金

を使わず、会員の出資と販売手数料による独立採算で常設直売所を立ち上げ、運営している県内初の事例となりました。

石垣さんは平成8年、海外研修先のイギリスで「日本の女性は役割を果たしているのに、男性の陰に隠れ責任を伴っていない」と言われた言葉が、深く胸に残ったそうです。「厳しい農業情勢下、女性も対等なパートナーとしてやっていこうという覚悟を、会員みんなで持ちました」

組織は総務部、販売・生産部、食堂・加工部、環境部の4部門に分かれ、それぞれに部長、副部長を置きます。毎月、定例総務会、定例役員会、全体会議があり、石垣さんは「意思決定を早めてみんなが同じ方向を向いていく。毎月総会をやっていくような感じです」と笑います。

**モニターの要望も事業化**

農業後継者が継いでよかつたと思えるように、また、消費者からいただく力を地域社会に返せるようにしたい。この大きな目標のために、

商業や観光など異業種とも手をつけたい」と話す、「現在の会員は69名。高齢もあるので、後継者を育てながら安定した経営をしていきたい」と、笑顔の中にも最後は引き締ました。



大館市特産物直売センター「陽気な母さんの店」  
住所:大館市曲田字家の後97-1  
tel:0186-52-3800  
ウェブサイト:sastage.net/yoki

## profile

## info

1953年大館市比内町生まれ。2011年から「陽気な母さんの店友の会」3代目会長。果樹農家。石垣家では家族経営協定を結び、夫はりんご部門、息子は梨と稻作部門、自身は野菜加工部門、息子の妻は家族の健康管理部門を受け持ち、給料制にしている。

大館市特産物直売センター「陽気な母さんの店」  
住所:大館市曲田字家の後97-1  
tel:0186-52-3800  
ウェブサイト:sastage.net/yoki

「農業後継者が継いでよかつたと思えるように、また、消費者からいただく力を地域社会に返せるようになります。お客さんで構成になってくれます。お客さんで構成するモニター会議を年2回開催。畑を見てもらい、体験し、昼食を食べ要望を聞く。要望も取り入れ事業化しています」



## 「女組バスターズ」

(秋田東警察署/秋田市)



平成26年5月、秋田東警察署の女性警察官や職員、高齢者安全安心アドバイザーら10人による犯罪被害防止ユニット「女組バスターズ」が結成されました。署内各課の垣根を越えて安全安心な街づくりを目指し、高齢者や子どもへの広報活動を行っています。

「安全と安心の『恵み』に満ちあふれた街をつくる」との決意が込められた「女組バスターズ」には、子育てや介護の経験があるメンバーも。女性ならではの視点やきめ細やかな対応、井戸端会議のように話しかけやすい雰囲気を心がけて、地域のために取り組んでいます。

科学部では他にも、空き缶サイズの模擬人工衛星「缶サット」の制作や、校内探査ローバー「アクエリアス」の開発といった宇宙開発に関する分野の研究に取り組んでいます。今後は、大会でいい成績を残すことを目指し、仲間を増やしながら活動していきたいです。

※ロケット甲子園…自分たちで設計・製作したモデルロケットに生卵を載せて打ち上げ、指定高度・滞空時間で生卵を割らずに回収する競技。

安心な街づくりを目指し、高齢者や子どもへの広報活動を行っています。町内会やPTA、福祉施設などに出向いて、犯罪や事故の防止をわかりやすく呼びかけます。実際の特殊詐欺を再現した寸劇は毎回好評で、さまざまなグループから依頼があるそうです。

「安全と安心の『恵み』に満ちあふれた街をつくる」との決意が込められた「女組バスターズ」には、子育てや介護の経験があるメンバーも。女性ならではの視点やきめ細やかな対応、井戸端会議のように話しかけやすい雰囲気を心がけて、地域のために取り組んでいます。



# 輝き★高校通信

秋田県立秋田北鷹高等学校(北秋田市)

高校生によるモデルロケットの国際大会(平成26年7月にイギリスで開催)に出場した科学部の皆さんからお話をうかがいました。

平成25年8月、能代市で開催された、モデルロケットの全国大会「ロケット甲子園」で優勝し、国際大会への切符をつかみました。ロケットの制作期間は3か月ほど。機体を紙で手作りしているところがポイントです。ロケットの準備だけでなく、英語でスピーチを行うための勉強も必要でした。日本チームは特別参加だったため順位はつきませんでしたが、出場者だけでなく、部員みんなで協力して取り組むことができました。

科学部では他にも、空き缶サイズの模擬人工衛星「缶サット」の制作や、校内探査ローバー「アクエリアス」の開発といった宇宙開発に関する分野の研究に取り組んでいます。今後は、大会でいい成績を残すことを目指し、仲間を増やしながら活動していきたいです。

## 不安な時こそ 家族のそばにいたい

「男の子が生まれた!」父親になると同時に育休が始まりました。休暇をどう過ごすかは、あれこれ考えていました。しかし出産が思つた以上に大変だったため、母子の入院が予定よりも長引くことに。結局、育休期間の3分の1は私も病院に泊まるなどしました。一番嬉しかったのは、元気に退院して三人で家に帰ることができた時です。ここでようやくほっとできました。不安だらけの中でスタートした子育てですが、こういう時だからこそ、妻と息子のそばにゆっくりと寄り添える時間ができます。育児休暇が終わっても、子育てにはできる限り参加しています。



シリーズ  
第27回

学校法人こひつじ学園 認定こども園  
こひつじ幼稚園 ろばの子保育園  
（横手市）  
保育士  
**石川祐也さん(38歳)**  
平成25年9月から15日間の  
育児休業を取得

# ラヴィータな人々 ひとり 育休を取った男たち

## 男女イマドキ職場訪問

秋田市にある  
「奥羽住宅産業株式会社」に  
おじゃまします。



奥羽住宅産業株式会社は、県内でありフォーム工事を専門に請け負っています。従業員は、現在22名。代表取締役の中村瑞樹さん、事務長兼経理係長の天野富士江さんから、働きやすい職場づくりに向けた取り組みについてお話をうかがいました。

当社は、従業員22名のうち8名を女性が占める職場です。女性従業員の中には、大工見習いとして修行中の人々、現場監督としてばかり働く人もいます。管理職に占める女性の割合は25%と、建築業としては多い方ではないでしょうか。女性職人が一人前になつたら、女性の視点を活かした仕事にもつながるだろうと期待して育てています。

若手従業員が増えてきたのは、数年前人を育てたい



従業員の皆さん笑顔の写真は、中村社長自ら撮影。社内の明るい雰囲気が印象的でした。

周囲の支援が不可欠

「女性の活躍推進に関する世論調査」によると、「女性のリーダーを増やすときに障害となるものは何だと思いますか」との問い合わせに対する回答は、「夫ら家族の支援が不十分」が

「消費生活に関するパネル調査」の前回と今回の調査結果を比較すると、共働きの女性のうち、働く時間が増えた人は、自分の時間を減らして働く時間を捻出しています。一方、働く時間が増えた女性の夫は、育児・家事にかける時間が2分減少し、妻の負担がさらに重くなっています。

子育て中の従業員もいますが、子どもそのための休みを取る人は男性のほうが多いかもしれません。従業員同士で休みを調整し合い、子どもを病院に連れて行ったり、学校行事に参加したりしています。

「消費生活に関するパネル調査」の受験料や事前講習の受講料等、職員のスキルアップは企業としてのレベルアップにつながるとの考え方から、各種資格試験の受験料や事前講習の受講料等、職員のスキルアップにつながる費用を会社で負担しています。

イベントをやつたりして親睦を深めているためか、職場の雰囲気は良好です。女性がいると、職場に笑顔が増え、雰囲気が良くなると感じています。職場の雰囲気の良さはお客様へのサービス向上にもつながり、お客様からのイメージも良くなると思います。男女のどちらがいといふことではなく、お互いに得意なところを活かし、苦手なところを補い合えれば良いのではないか。今後も従業員を大事に育て、女性も増やしていくことを迎え、笑顔で働きたいですね。



周囲の支援が不可欠

「女性の活躍推進に関する世論調査」によると、「女性のリーダーを増やすときに障害となるものは何だと思いますか」との問い合わせに対する回答は、「夫ら家族の支援が不十分」が

※「消費生活に関するパネル調査」:毎年、同一個人を継続的に追跡する調査。対象は女性。第21回調査は24歳~54歳の女性2,541名を対象に、平成25年10月実施。

※「女性の活躍推進に関する世論調査」:全国の20歳以上の人5,000名を対象に、平成26年8月~9月実施。

行つてみよう!

## 男女共同参画セントラル



県内に3か所ある男女共同参画センター。今回は、秋田県北部男女共同参画センター（大館市）についてご紹介します。

息子の日々の成長を見守るうちに、今まで以上に保護者の目線に立て保育の仕事に携われるようになっていたことに気づきました。経験をさらにうまく発揮できるのでないかと、今から楽しみにしています。

男性の育児休暇は、いつもとは違う家族の姿に接することができます。そこで、ぜひ取得をお勧めします。

私も聞いたことはありました。制度の説明を受けるまでは、どのような仕組みなのかはよくわかりませんでした。制度について広く周知し、手続き等をもっと簡略化すれば、導入を前向きに検討する企業もさらに増えてくるのではないかでしょうか。

### 保育のプロでも 新米パパは大変!

毎日たくさんの子どもたちとふれあう職場にいますし、これまで積み重ねてきた保育の知識についても自信があると思っていました。

でも仕事やテキストから学んだ情報と、実際の子育てとは全然違うものでした。息子が生まれてからは、学ぶことだけの新米パパです。一瞬、一瞬の時間を慈しみ、

### 学校法人こひつじ学園 佐藤留美園長のお話

今から20年ほど前、私が第3子の出産をした時に、夫が一ヶ月近くの休暇を取りました。当時、夫は職場からたくさん批判を受けたものです。今、ようやく時代が追い付いてきたと感じています。出産直後の母親たちには、体調の変化、育児や家の負担が一気に押し寄せます。男性が育休を取って妻をサポートするのには大賛成です。

問い合わせ先

秋田県北部男女  
共同参画センター

電話

0186-49-8552



向き・不向きは人それぞれ。「男の仕事」、「女の仕事」と決めつけず、個性を大切にしたいですね。

世界に目を向け、新たな視点で活動する高橋さんと、地域に根差して長年続けてきたことが社会を動かした石垣さん。一見対照的なおふたりですが、チャレンジの原点が秋田の食文化という共通点も。よいもの、確かなものは受け継がれ、発展するんですね。（坂本 佐穂）

**編集後記**

老舗7代目にあたる高橋さんのエキゾチックな“温故知新”。消費者との体験交流で、売り上げを伸ばしている女性起業直売所。どちらもその発想と心意気に圧倒されます。そして自ら動くその姿は、私たちに多くを語ってくれます。（佐藤 万里子）

# !information いんふおめ～しょん

## 北都銀行が内閣総理大臣表彰を受賞しました。

北都銀行が内閣府による「女性が輝く先進企業」7社に選ばれ、平成27年1月9日、最高賞の内閣総理大臣表彰を受賞しました。

この表彰は、女性が活躍できる職場環境の整備を推進するため、役員・管理職への女性の登用や、情報開示において顕著な功績があった企業を表彰し、「女性が輝く社会」の実現を目指すもので、今年度から始まりました。

北都銀行は、女性の管理職比率が26.7%（平成26年9月）を占めることや、女性行員対象の企業内大学設置等の先進的な取り組みが評価され、最高賞の受賞となりました。

## 「働く女性スキルアップ講座」を開催しました。

平成26年12月12日、県内で働く女性を対象に、「働く女性スキルアップ講座」を開催しました。(株)プレステージ・ヒューマンソリューション取締役の清水留美さんが講師を務め、グループワークを盛り込んだ講演の他、(株)プレステージ・インターナショナルにおける働きやすい職場づくりに向けた取り組みの紹介や、秋田市新屋にある同社の社内見学等を行いました。ワークショップでは、女性が働くまでの課題や自社における状況等について、活発に意見が交わされました。



編集部

La Vita

『La Vita』を読んでのご意見・ご感想をお寄せください。お待ちしています。

TEL 018-860-1556 FAX 018-860-3895

Mail persons@pref.akita.lg.jp

秋田県生活環境部男女共同参画課  
〒010-8570 秋田市山王四丁目1番1号

